

■ 社是

ひねらんかい (知恵を出そう、工夫しよう)

■ 経営理念

洗練された、自己主張できる社員が、
意欲的に働き、顧客から評価され、
成長と収益をもたらし、
活気に満ち溢れているアグレッシブな会社

■ 経営目標

Strong & Great 強く偉大な会社

■ 経営方針7原則

Speed

組織としての意思決定はもちろん、お客さまへの対応やサービス提供のスピードを速めることで、ビジネスチャンスを実際にとらえると同時にお客さま満足の向上につなげています。

Stretch

当社では常により高い目標を目指し続けています。過去と同じことをしていたのではその目標に届くことはできず、絶えずイノベーションを起こし変化することで成長を遂げてきました。

Partnership

経営陣・社員の区別なく全社員が経営者意識を持って業務にあたることを説きます。

Fair & Open

当社ではやったらやった分だけ公平に評価されるという環境と、結果を社員全員にディスクロージャーするオープン経営を実現します。

Originality

経済環境に関係なく卓越した利益をあげるため、情熱を持って取り組めるものは何か、自社がNo.1になれるものは何か、それは利益を生むものか、の3点を満たすものを事業に掲げ、誰にも負けない事業を展開します。

Passion

必ずできるという意志の強さ、情熱、どんな困難にぶつかっても最後は必ず勝てるという信念を持ち続け、増収、増益も実現し続けます。

Free & Rule

強く偉大な会社になるためには、きちんとしたルールに基づく秩序と、その中での創造性が必要です。当社では規律の中の自由を文化とします。

株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会 毎年12月
株主確定基準日 定時株主総会・期末配当金 9月30日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。

公告方法 電子公告
<http://www.septeni-holdings.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(特別口座管理機関) 三井住友信託銀行株式会社
各種お問合せ先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL : 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株式の売買単位 1株

証券コード 4293



株式会社セプテーニ・ホールディングス
<http://www.septeni-holdings.co.jp/>

■本報告書の中の業績予想等につきましては、本報告書作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は、今後さまざまな要因により予想数値と異なる結果となる場合があります。

■本報告書の中の会社名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。



Septeni
BUSINESS
REPORT
2012

第22期 報告書

2011年10月1日～2012年9月30日

株式会社セプテーニ・ホールディングス

証券コード：4293

加速するモバイルインターネット分野における積極展開で 売上高、営業利益ともに過去最高を達成。 今後もセプテーニ・オリジナルな成長を目指します。

まず始めに最近の経営環境について どのように感じているのでしょうか。

ますますスピードを速める モバイルインターネットへの変化

昨今、インターネット産業の変化はますますスピードを速めていると感じています。その変化を後押ししているのがモバイルインターネットの発達です。携帯電話も従来のフィーチャーフォンに代わってスマートフォンが主役となり、より幅広い人が手軽にインターネットを利用するようになりました。一方でパソコンもタブレットPCに代表される小型化・軽量化により急

速なモバイル化が進展しています。

当社グループは、このような変化にいち早く対応し、自らが市場を開発することで、ネットマーケティング事業およびメディアコンテンツ事業の両分野で積極的なビジネスを推し進め、当期[第22期]においても大きな成長をとげています。

当期[第22期]の取り組みおよび 業績についてお聞かせください。

スマートフォン向け広告が約5倍に拡大 ネットマーケティング事業

ネットマーケティング事業での取り組

中期経営計画の概要

■コンセプト

「セプテーニ・オリジナル」

成長分野への積極投資を通じて、自社サービス中心の業態へ転換
高成長・高収益のビジネスモデルをつくる

■注力分野

モバイル ソーシャル プラットフォーム

■業績目標(2013年9月期)

売上高 **500**億円 営業利益 **30**億円

みとしては、3つのキーワードがあげられます。

まず1つめが「スマートフォン」です。当社は、ネット広告において従来型のフィーチャーフォン市場で、すでに高いシェアを獲得、当社ならではの強みを発揮していましたが、当期は新たな成長分野であるスマートフォン市場での拡大に力を注ぎました。その結果、売上高を前期比約5倍に伸ばし、フィーチャーフォンを上回る実績を達成しました。

2つめは「ソーシャル」です。当社グループは、ソーシャルメディアネットワーク分野で世界最大のFacebookに早くから注目し、他社に先駆けて関連ビジネスを展開してきました。その売上高が当期において前期比約6倍に急成長し、この分野のリーディングカンパニーのポジションを獲得しています。

そして3つめのキーワードが「グローバル」です。当期は、北米のサンフランシスコ、シンガポールに海外拠点を開設しました。国内企業に対しては海外で、海外企業については国内で、それぞれインターネットを利用した広告プロモーションを支援するビジネスに着手しており、今後このようなクロスボーダー取引を拡大していきます。

ソーシャルゲーム市場に本格参入 メディアコンテンツ事業

メディアコンテンツ事業では、グループ会社であるアクセルマークとサイトックによって、急成長を続けるソーシャルゲーム市場に本格参入しました。アクセルマークについては期初の2011年10月にエフルトと合併して体制を刷新し、すでに複数のヒットタイトルを生み出しています。当期

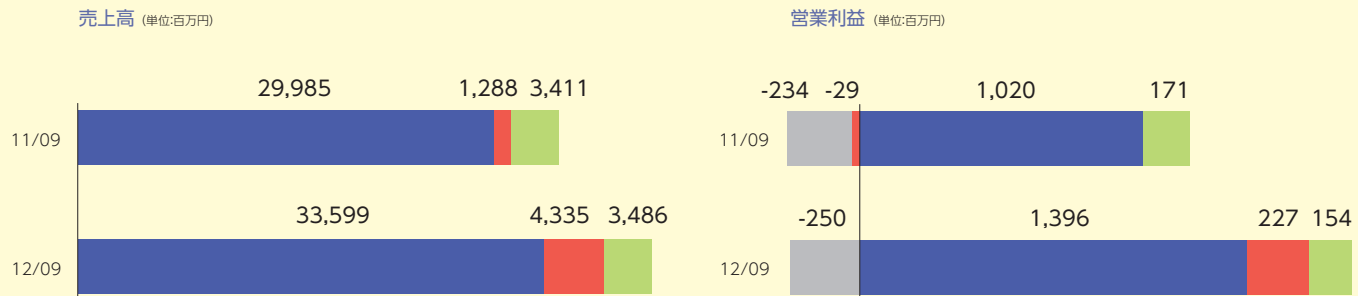
においては2社合計で売上高は21億円を達成し、その利用者数は280万人に上るなど、参入の初年度として充分な手応えを感じています。

また、2012年8月には、アクセルマークが国内最大級のソーシャルゲームプラットフォーム「Mobage(モバゲー)」を運営する株式会社ディー・エヌ・エー(DeNA)と戦略的な提携に合意しました。今後は、大型タイトルの開発や海外での展開を共同で推し進めていきます。

このような活動の結果、当期の業績は売上高41,358百万円(前期比19.4%増)、営業利益1,527百万円(前期比64.5%増)と、いずれも過去最高となりました。株主の皆様をはじめ、情熱を持ち真摯に仕事へ取り組んでくれている全ての社員、日頃より当社グループを支えてくださる関係者の皆様のご支援に、心より感謝を申し上げます。

事業区分別業績

■ ネットマーケティング ■ メディアコンテンツ ■ その他 ■ 調整額(全社費用等)



※当期より、当社グループの主な事業ドメインであるインターネット領域でのさらなる業容拡大を目指し、事業セグメントを従来の5つの事業区分のうち、当社グループの主な事業ドメインであるインターネットに関連した「ネット広告事業」「テクノロジー事業」「コンテンツ事業」の3つの区分を「ネットマーケティング事業」「メディアコンテンツ事業」の2つの区分に再編し新たな事業セグメントとするともに、量的な重要性等の観点から「ネットマーケティング事業」「メディアコンテンツ事業」を報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

※11/09の事業区分別業績は、変更後の区分で組み替えた数値に遡及修正しております。



中期経営計画の進捗状況について お聞かせください。

新規投資も積極的に実施し、 実現に向けた確かな手応え

当期は、中期経営計画における中間期となりました。すでに取り組みや業績をお伝えしているとおり、高成長・高収益なビジネスモデルの実現に向けて確かな手応えを感じています。また、今後の非連続な成長を見据えて、新規事業開発についても積極的に取り組みました。期初の2011年10月には、新規事業開発・育成の専門会社「セプテーニ・ベンチャーズ」を設立し、当期においてすでに3つの新規プロジェクトを立ち上げています。それらも合わせ新規事業関連で約2億7千万円の先行投資を実施しました。

次期[23期]の事業展開について どのようにお考えなのでしょうか。

ネットマーケティング事業を基盤に 「攻め」の経営に注力

次期[23期]について、私はインターネット産業全体の変化がさらに加速すると考えています。そのため、よりいっそう緻密な舵取りが必要であり、スピードと緊張感をもって経営に取り組んでいきます。

現在の主力であるネットマーケティング事業においては、先にあげた3つの分野(スマートフォン、ソーシャル、グローバル)に引き続き注力し、持続的な成長を目指します。

一方、メディアコンテンツ事業では、当期から本格参入したソーシャルゲーム市場において投資を積極化し、高い成長を目指します。この市場は今後国内では徐々に成長

が緩やかになると予想されますが、海外において急激な拡大が見込まれます。その一方で非常に競争の激しい分野でもあり、勝ち残りのためには業界のトッププレイヤー入りが前提条件であると考えています。当然、リスクも適切に管理していきませんが、将来に向けた急成長の基盤を築くために、攻めの経営に徹したいと考えています。

コアバリューである 人材育成に向けた継続的な取り組み

毎期お伝えしていることですが、私は「人」こそが当社グループのコアバリューであると確信しています。私たちは、情熱的で起業家精神に富んだ人材が集い成長していく環境づくりに大きな力を注いでいます。このような取り組みは第三者機関からも高く評価されており、2012年版「働きが

いのある会社」ランキング[※]でベスト30にランクインしました。今後も志を共にできる優れた人材を育成し、競争力の持続的な強化に努めていきます。

最後に、株主の皆様への メッセージをお願いします。

株主の皆様のご期待にお応えして 飛躍的かつ持続的な継続を目指す

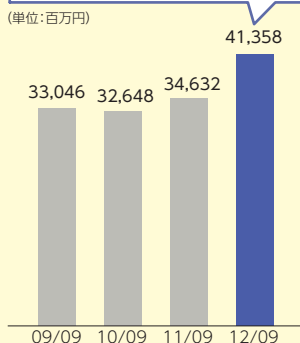
株主の皆様への利益還元については、従来どおり連結純利益の15%程度を目安にしつつ、1株当たり年間配当金の下限を1,000円と設定し、業績の拡大に応じた適切な利益配分を基本としながら、安定配当の継続にも配慮していく方針です。

当期は過去最高益を達成しましたが、当社グループの成長はまだこれからが本番

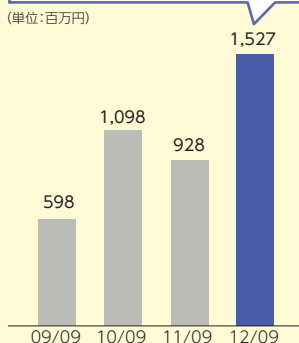
だと私は認識しています。私たちは若く変化度の大きな企業グループですが、長期的な視野で持続的かつ飛躍的な成長を目指しています。そして、そのビジョンを追求することで株主の皆様へのご期待にお応えしていきたいと考えています。引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。

※ Great Place to Work[®] Institute Japanによる、2012年版「働きがいのある会社」ランキングのベスト30にセプテーニグループ(対象10社)がランクインし、「ベストカンパニー」に選定されました。

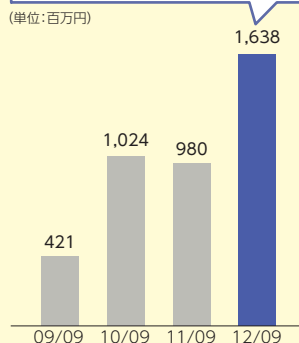
売上高 **41,358**百万円
前期比 **19.4%UP**



営業利益 **1,527**百万円
前期比 **64.5%UP**

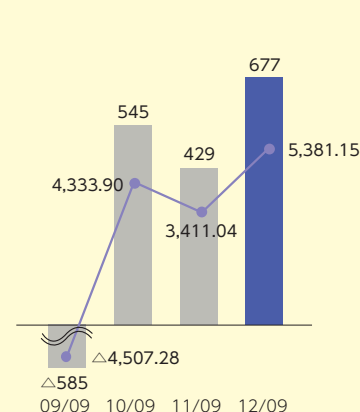


経常利益 **1,638**百万円
前期比 **67.2%UP**



当期純利益 / 1株当たり当期純利益

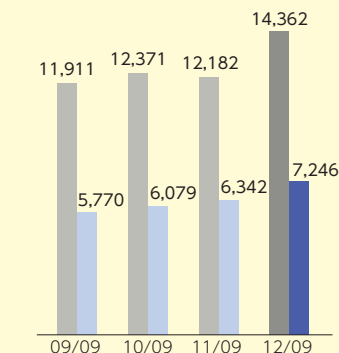
■ 当期純利益 (単位:百万円) ● 1株当たり当期純利益 (単位:円)



総資産 / 純資産

■ 総資産 ■ 純資産

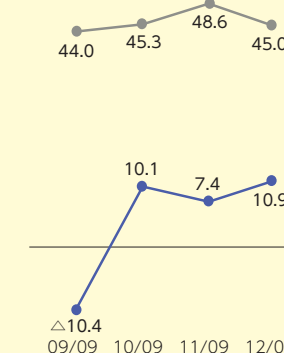
(単位:百万円)



自己資本比率 / 自己資本当期純利益率

● 自己資本比率 ● 自己資本当期純利益率

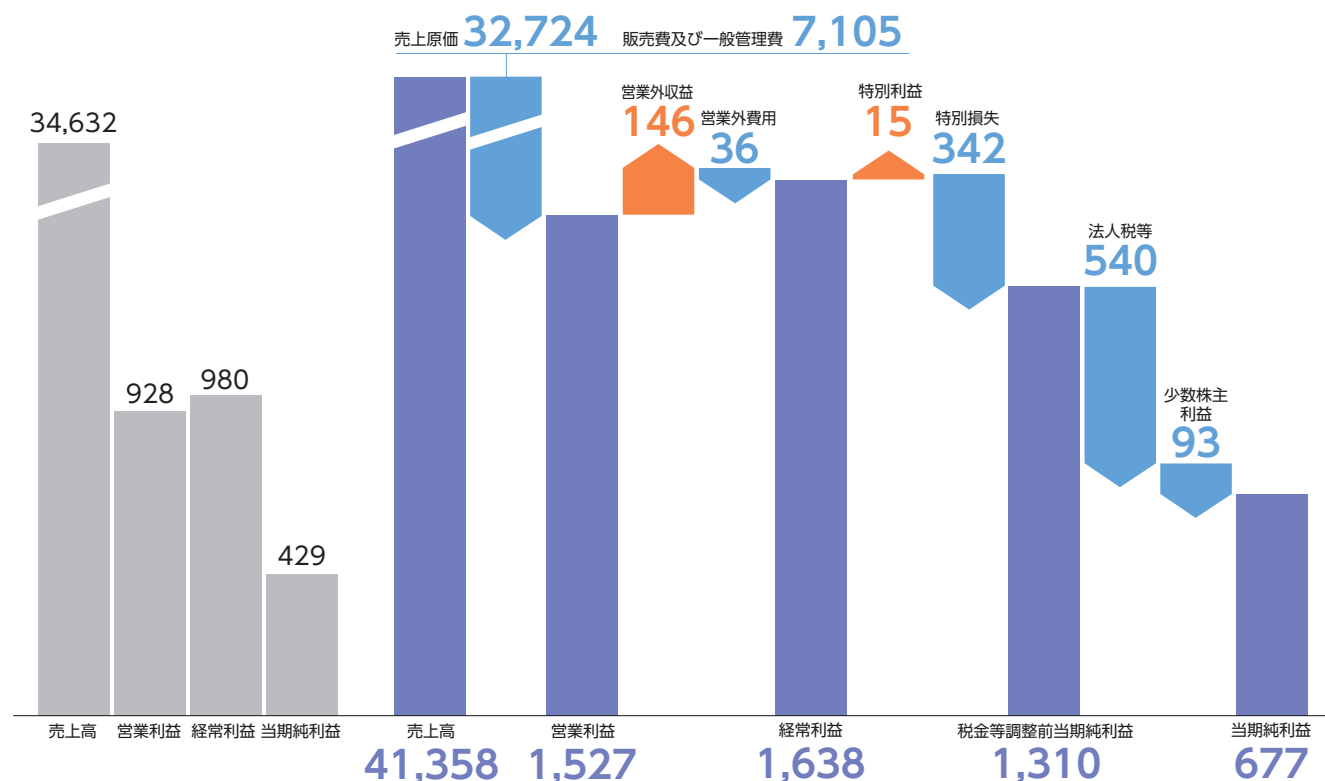
(単位:%)



連結損益計算書の概要(単位:百万円)

前期(2010年10月1日~2011年9月30日)

当期(2011年10月1日~2012年9月30日)



Point 1 売上高

ネットマーケティング、メディアコンテンツの両事業において順調に業容を拡大させたことから、売上高は前期比19.4%増の41,358百万円となり、2期連続で過去最高を更新いたしました。

Point 2 販売管理費、営業利益

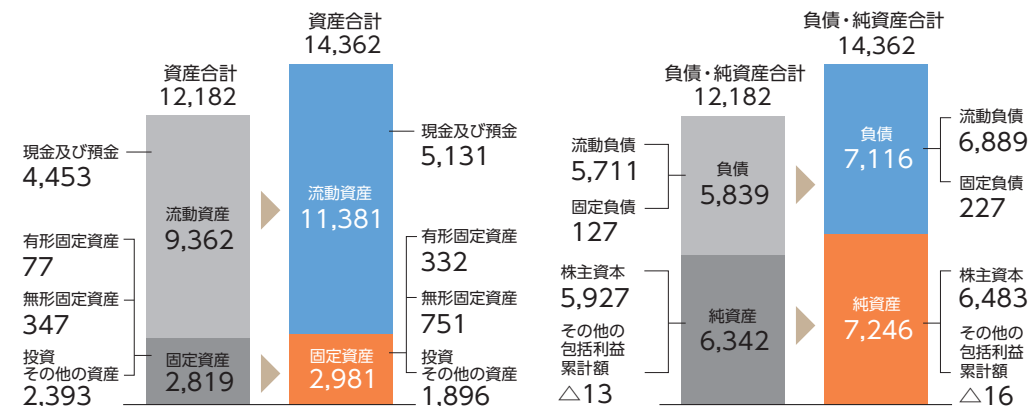
人材や新規事業に係る先行投資やソーシャルゲームの販促活動強化により販売管理費は7,105百万円と前期比30.5%増加しましたが、これを増収効果で吸収し、営業利益は前期比64.5%増の1,527百万円と過去最高を更新いたしました。

Point 3 当期純利益

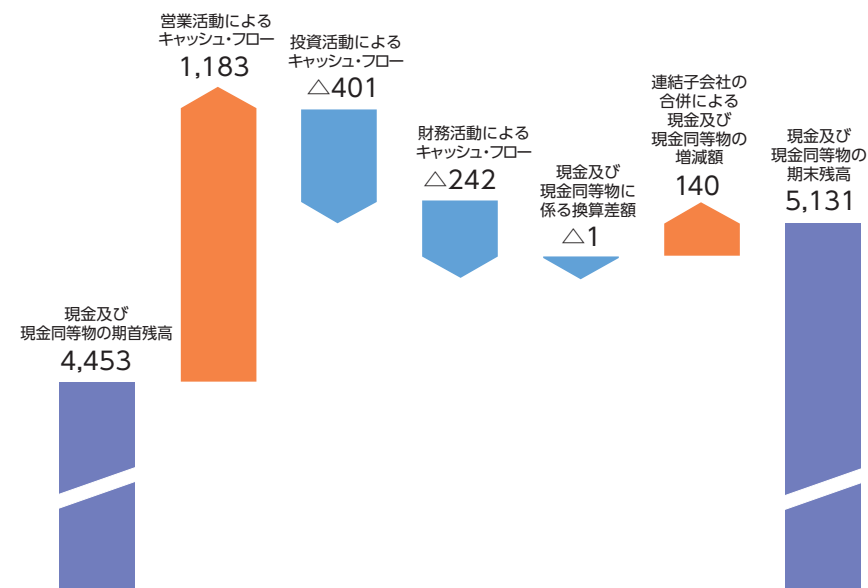
子会社の合併に伴って発生した段階取得に係る差損やコマース事業に係るのれんの減損などで合計342百万円の特別損失を計上いたしました。当期純利益は前期比57.8%増の677百万円となり、こちらも過去最高を更新いたしました。

連結貸借対照表の概要(単位:百万円)

前期末(2011年9月30日) 当期末(2012年9月30日)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円)



Point 4 総資産

流動資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加等により前期末に比べ2,018百万円増加し、11,381百万円となりました。固定資産は、のれんや建物の増加等により前期末に比べ162百万円増加し、2,981百万円となりました。これらの結果、総資産は前期末に比べ2,180百万円増加し14,362百万円となりました。

Point 5 負債/純資産

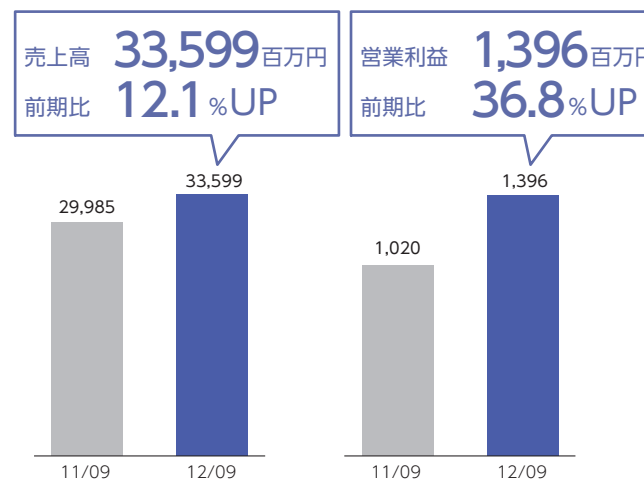
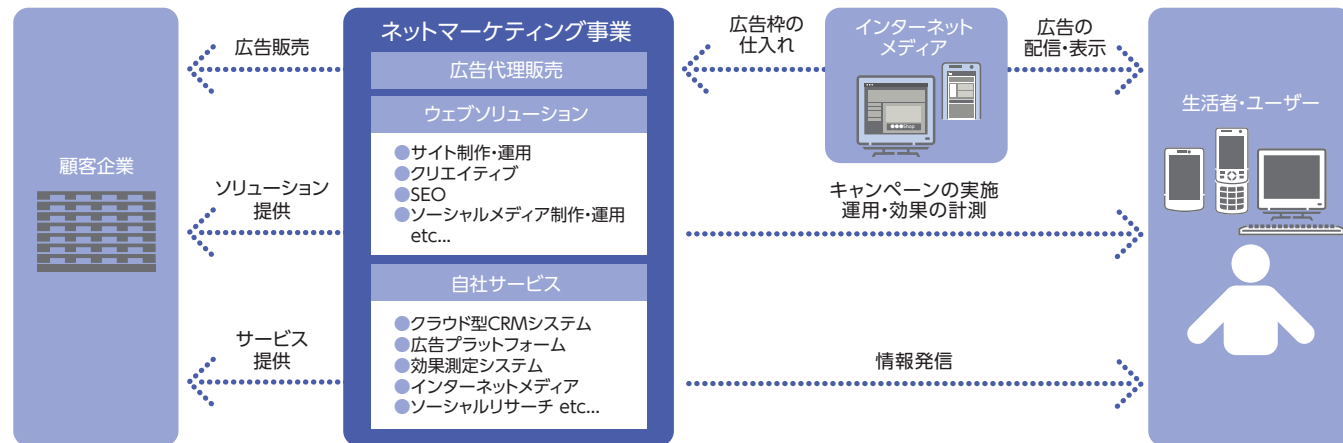
負債合計は、買掛金や未払金、長期借入金の増加等により前期末に比べ1,277百万円増加し7,116百万円となりました。純資産は、当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により前期末に比べ903百万円増加し7,246百万円となりました。

Point 6 キャッシュ・フロー

各種固定資産の取得等により投資活動によるキャッシュ・フローはマイナス401百万円だったものの、過去最高益が寄与し営業活動によるキャッシュ・フローがプラス1,183百万円となったことで、現金及び現金同等物の期末残高は前期末に比べ678百万円増加し5,131百万円となりました。

ネットマーケティング事業の概要

インターネットを活用した包括的なマーケティング支援サービスを企業向けに展開しています。インターネット広告の販売や各種ウェブソリューションの提供をはじめ、自社サービスとしてアドネットワーク等のマーケティングプラットフォームやクラウド型CRMサービスの運営も手がけています。

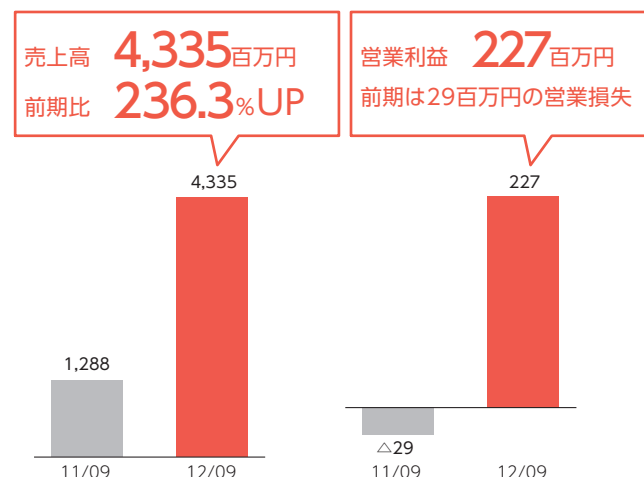
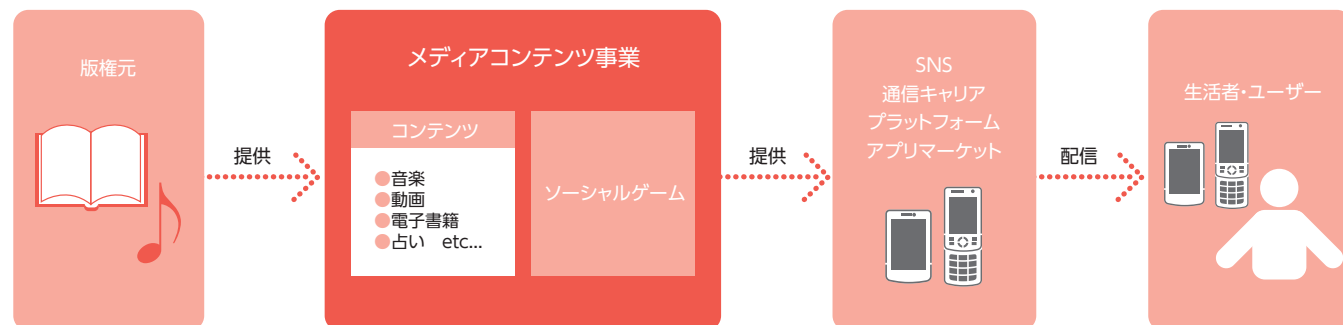


Point

- 堅調な広告需要により、二ケタ増収と利益率の向上を実現しました。
- スマートフォン向け広告の売上高が前期比約5倍と高成長を続けており、従来型携帯電話向けを上回りました。
- Facebook関連サービスの需要が拡大し、売上高は前期比約6倍に伸ばしました。
- 海外での拠点展開を開始し、シンガポールと北米サンフランシスコに現地法人を設立しました。

メディアコンテンツ事業の概要

スマートフォンや従来型携帯電話(フィーチャーフォン)向けにソーシャルゲームをはじめとする各種デジタルコンテンツを企画・開発し、SNSや携帯通信キャリア等様々なプラットフォームを通じて生活者に提供しています。その他、モバイルメディアの運営等も手がけています。



Point

- ソーシャルゲーム分野の成長により業績が拡大し、黒字転換を果たしました。
- アクセルマークがエフルートと合併しました。
- 第3四半期以降はゲーム分野の強化を目指して先行投資を積極化しており、コストが先行しています。
- アクセルマークがDeNAとの戦略的提携に合意し、ソーシャルゲームの海外展開に着手しました。

Facebook

Facebook関連サービス

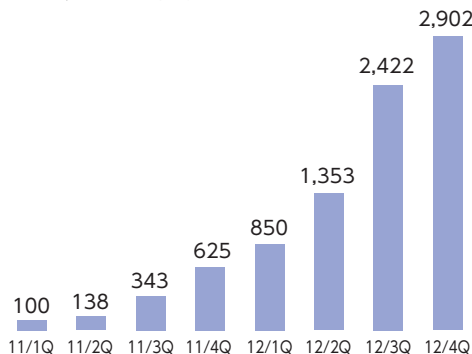
Facebookページの構築から運用代行、集客(広告)までワンストップで提供

世界最大のSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)となった「Facebook」。当社グループでは、企業がFacebookをマーケティングに活用するために必要な各種のサービス(ページ構築、ページ運用代行、広告での集客等)をワンストップで提供しています。2010年7月と比較的早期からサービスを開始しノウハウを蓄積、これまでに累計200社以上の取引実績を誇ります。また、日本初の「Facebook広告公式APIパートナー」*に認定され広告運用管理ツール「PIXYS」を開発するなど、競合優位性の強化に努めています。

* Facebookより広告API(アプリケーションプログラミングインターフェース)へのアクセス権限を取得した企業

当社グループのFacebook関連売上の推移

※11/1Qを100として指数化



Facebook



Septeni

運用代行
(ウォール投稿、
キャンペーン実施等)

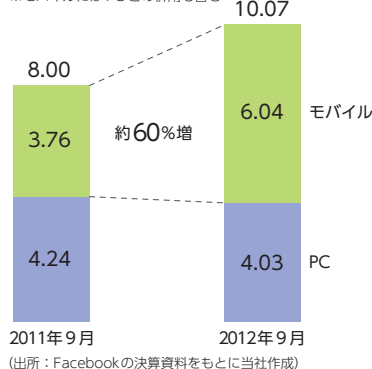
ページ構築 集客(広告)

広告主

Facebook月間アクティブユーザー数(全世界)

(単位: 億人)

※モバイルにはPCとの併用も含む



全世界のFacebookユーザーは、2012年9月に10億人を突破しました。最近ではスマートフォンを中心としたモバイルユーザーの増加が著しく、今後はモバイル分野の急拡大が見込まれています。

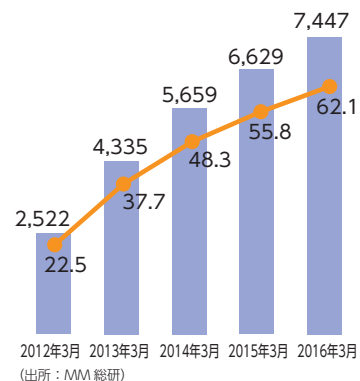


モバイル分野では近年、従来型携帯電話(フィーチャーフォン)からスマートフォンへの端末シフトが急速に進んでいます。2012年3月には国内のスマートフォンの契約数が2,500万件程度になったものと推定され、今後もしばらく増加し続けるものと思われます。それに伴い当社グループのスマートフォン広告取扱高も急拡大しており、2012年9月期通期では前期比約5倍に成長、フィーチャーフォン広告売上高を上回るまでになりました。

今後はコア媒体の販売に注力し、スマートフォン広告の成長を加速させてまいります。

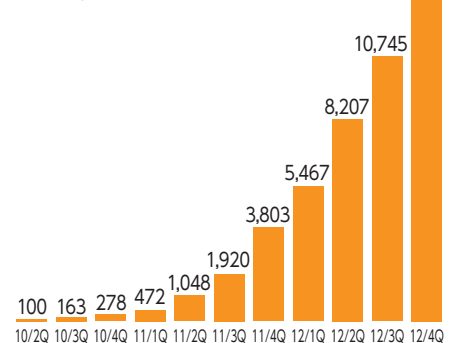
国内スマートフォン契約数予測

■ 契約数(万人) ● スマートフォン契約比率(%)



当社グループのスマートフォン向け広告売上の推移

※10/2Qを100として指数化



Smartphone

スマートフォン向け広告

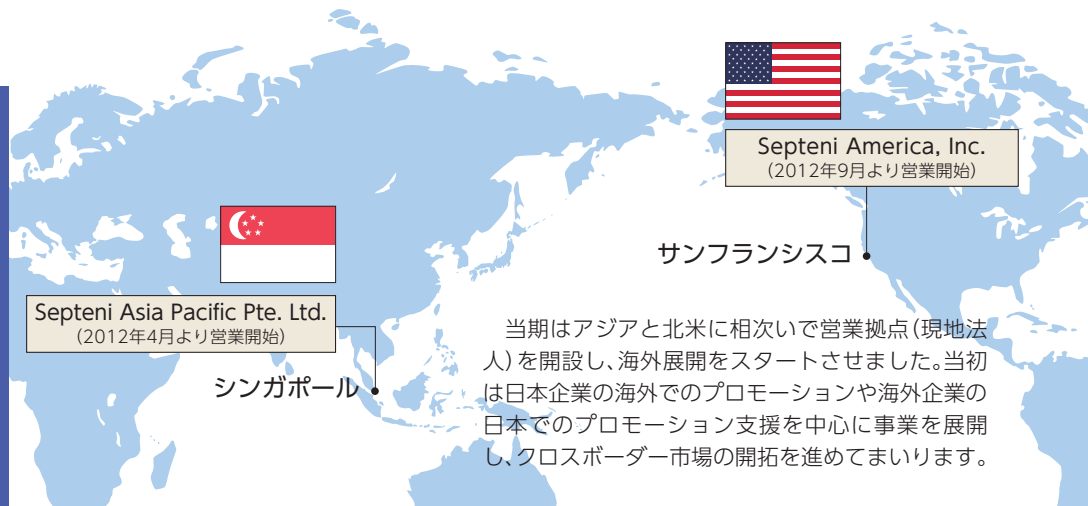
前期比約5倍に成長、フィーチャーフォン広告売上高を上回る



Global

海外展開

ネット広告のクロスボーダー市場を開拓



Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.
(2012年4月より営業開始)

シンガポール



Septeni America, Inc.
(2012年9月より営業開始)

サンフランシスコ

当期はアジアと北米に相次いで営業拠点(現地法人)を開設し、海外展開をスタートさせました。当初は日本企業の海外でのプロモーションや海外企業の日本でのプロモーション支援を中心に事業を展開し、クロスボーダー市場の開拓を進めてまいります。

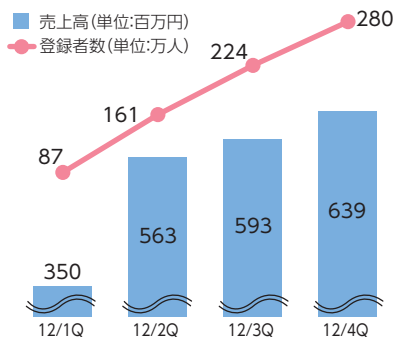
Social Game

ソーシャルゲーム

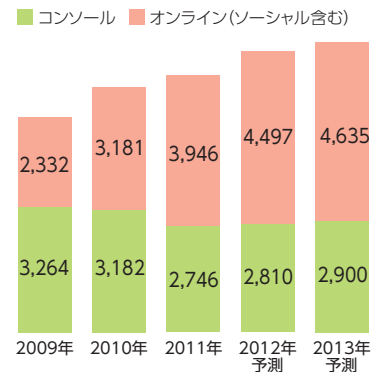
累計21億円
280万人突破!

急速な成長を続けているソーシャルゲーム市場。当社グループではソーシャルゲームプラットフォームにアイテム課金型のゲームを提供しており、本格参入から約1年で累計登録者数は約280万人、当期の売上高は約21億円にまで成長いたしました。第3四半期以降は、M&A等による先行投資を積極化し、さらなる競争力強化を図っております。

当社グループのソーシャルゲーム売上高及び累計登録者数推移

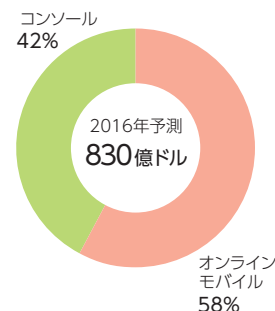


国内ゲームソフト市場規模 (単位: 億円)



(出所: エンターブレイン「ファミ通ゲーム白書 2012」をもとに当社作成)

全世界のゲーム市場規模



(出所: PwC「Global Entertainment and Media Outlook: 2012-2016」をもとに当社作成)

Awards



Great Place to Work® Institute Japan による、2012年版「働きがいのある会社」ランキングのベスト30にセプテーニグループ(対象10社)がランクインし、「ベストカンパニー」に選定されました。



セプテーニ・ホールディングスは、日本IR協議会が選定する2012年度「IR優良企業賞」において、「IR優良企業奨励特別賞」を受賞いたしました。



セプテーニ・ホールディングスのウェブサイトが、モーニングスター株式会社が選定する「Gomez IRサイトランキング2012」の新興市場ランキングにおいて、6位にランクインいたしました。



キングダムクロニクル



王様ゲーム



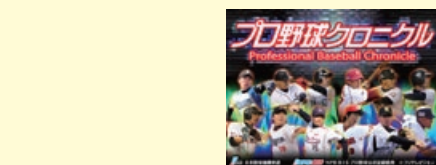
アクセルマークは「Mobage(モバゲー)」向けに全6タイトルのゲームを提供しています。(2012年11月末時点)
2012年8月には「Mobage」を運営する株式会社ディー・エヌ・エーと戦略的提携に合意しました。



乙女転生グリモア伝



サイテックは「GREE」向けに全3タイトルのゲームを提供しています。(2012年11月末時点)



プロ野球クロニクル ©フジテレビジョン/ ©アクセルマーク



アドベンチャークロニクル



天空のレギオン

アラド戦記SG New

株式会社ネオプレックスが運営する、全世界で8カ国配信、中国においては300万人の同時接続者記録を持つオンラインアクションRPG「アラド戦記」を「アラド戦記SG」としてソーシャルゲーム化!

©2012 Neople / NEXON and AXELMARK



亡国戦姫ロストガールズ



時空戦女オラクル



純粋持株会社

株式会社セプターニ・ホールディングス

株式等の保有を通じたグループ企業の統括、管理等

ネットマーケティング事業



株式会社セプターニ
インターネット広告



MANGO株式会社
SEMオペレーション



株式会社Vasara
インターネット広告



株式会社ハイスコア
ソーシャルメディアマーケティング支援事業



株式会社イーグルアイ
アドネットワーク事業



Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.
アジア太平洋地域におけるインターネット広告事業



Septeni America, Inc.
北米地域におけるインターネットマーケティング事業



株式会社セプターニ・クロスゲート
アフィリエイトネットワーク



株式会社エイエスピー
eマーケティングソリューション事業



トライコーン株式会社
CRMサービス事業



株式会社トリガー
ソーシャルリサーチ事業

メディアコンテンツ事業



アクセルマーク株式会社
モバイルコンテンツ事業



サイテック株式会社
携帯電話向けソーシャルゲームの開発

その他



株式会社セプターニ・ダイレクトマーケティング
DM事業



株式会社アGRESS
通信販売事業

新規事業開発



株式会社セプターニ・ベンチャーズ

Corporate
Data/
Stock
Information

会社概要 (2012年12月21日現在)

商号	株式会社セプターニ・ホールディングス (SEPTENI HOLDINGS CO., LTD.)
本社所在地	東京都新宿区西新宿八丁目17番1号 住友不動産新宿グランドタワー28F
電話番号	03-6863-5623 (FAX) 03-6863-5624
事業内容	株式等の保有を通じたグループ企業の統括、 管理等
設立	1990年10月
資本金	20億9百万円
連結従業員	正社員734名/従業員823名 (2012年9月30日現在)



役員構成 (2012年12月21日現在)

代表取締役社長	佐藤 光 紀 (左から4番目)	常勤監査役	柳 克 久
代表取締役会長	七村 守 (左から3番目)	監査役	廣 渡 嘉 秀
取締役副会長	野村 宗 芳 (左から5番目)	監査役	大 滝 令 嗣
専務取締役	上野 勇 (左から2番目)		
常務取締役	清水 一 身 (左から1番目)		
取締役	松田 忠 洋 (左から6番目)		
取締役	唐木 信太郎 (左から7番目)		

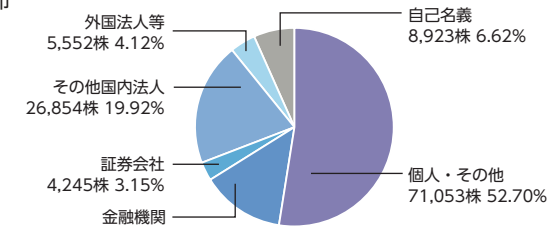
株式の状況 (2012年9月30日現在)

発行可能株式総数	370,080株
発行済株式総数	134,819株
株主数	5,796名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
1. 株式会社ビレッジセブン	19,419	15.42
2. 七村 守	16,516	13.12
3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,551	9.97
4. ヤフー株式会社	7,000	5.56
5. 岩見 則男	2,440	1.94
6. 清水 洋	2,400	1.91
7. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,373	1.88
8. 片山 晃	2,226	1.77
9. 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,873	1.49
10. 野村 宗芳	1,426	1.13

(注) 当社は、自己株式8,923株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。
また、持株比率についても、自己株式を控除して算出しております。

所有者別分布



所有株数別分布

